

1 活動概況

長崎大学の理念と基本目標

長崎大学は、これまで「長崎に根づく伝統的文化を継承しつつ、豊かな心を育み、地球の平和を支える科学を創造することによって、社会の調和的発展に貢献する」との理念に基づき高度の教育・研究活動を展開してきた。新世紀初頭の国立大学法人への移行を契機に、更なる教育・研究の高度化と個性化を図り、アジアを含む地域社会とともに歩みつつ、世界にとって不可欠な「知の情報発信拠点」であり続けることを宣言する。

この理念の達成に向けた基本目標として、以下の5項目の最重点事項を掲げています。

- 1 長崎大学は教育、研究の両面で世界のトップレベルを目指して、戦略的な教育研究企画を推進し、教育・研究の更なる高度化、個性化を図る。
- 2 「学生顧客主義」の標語の下、教養教育、学部専門教育、大学院教育の充実を図って最高水準の教育を提供するとともに、入学者選抜、課外活動、就職などを含む学生生活の全般にわたって支援体制を一段と強化する。
- 3 大学で創造する知的財産の適正な管理を行い、知的財産と人的・物的資源を活用した地域連携、産学官連携、国際的連携を通して教育・研究成果の社会への還元を推進する。
- 4 不断に外部評価も含めた点検・評価を行い、それを教育・研究の改善実施に直結できる体制を整備し、かつ、その情報公開に努める。
- 5 教育研究組織、事務組織の見直しや情報の一元的な管理体制を構築することにより業務の高度化、効率化を図る。また、柔軟な管理運営、人事、財務システムを導入して大学法人の経営基盤を確立する。

(国立大学法人長崎大学中期目標(2004年度～2009年度)前文より)



これらの目標の達成に向けて、長崎大学は次のような特色ある取組を展開しています。

長崎大学が誇る特色

中期目標期間(平成16～19事業年度)に係る業務の実績に関する報告書・全体的な状況より引用

I. 長崎大学の個性を発揮する研究の育成：

「熱帯病・感染症研究」と「放射線医療科学」は、これまでの教育研究成果の蓄積の上に立って本学の研究個性を発揮する代表的研究として位置付けられ、いずれも21世紀 COE プログラム、「熱帯病・新興感染症の地球規模制御戦略拠点(平成15年度採択)」と「放射線医療科学国際コンソーシアム(平成14年度採択)」として採択された。これら2つの国際連携研究分野に、東シナ海・有明海などの環境と資源の保全・回復を目的とする「海洋環境生物資源研究」分野を加え、まず3つの国際連携研究を、本学の重点研究分野として育成していくことを骨子とする国際戦略を平成16年度に策定した。この国際戦略の下、3つの国際連携研究のマネジメントに特化した「国際連携研究戦略本部」を平成17年度に創設し、国際連携研究の戦略体制並びに外部資金の受入など業務運営・経費執行面の手続処理の一元化を行う制度を構築した。更に、同本部に学長管理の教授ポスト2名を配置したほか、有期雇用による教職員を重点的に配置した。その成果として、ケニアとベトナムの2ヶ所に、本学が主宰・運営する本格的(常駐型)海外感染症拠点を設置し、熱帯病・新興感染症の国際連携研究を展開させることができた。この5年間の実績を基盤に、感染症の制御・克服に向けて、「熱帯病新興感染症の地球規模統合制御戦略(平成20年度グローバルCOEプログラムに申請)」を展開する予定である。また、「放射線医療科学」につい

ては、旧ソ連邦核汚染国との連携研究に加え、現職教授を WHO 本部（ジュネーブ）の環境・健康局放射線プログラム専門科学官として派遣（2年間）するなど、国際機関（WHO）等との連携も推進した。これらの実績は高く評価され、「放射線健康リスク制御国際戦略拠点」が平成19年度グローバル COE プログラムに採択された。

「環東シナ海海洋資源研究」は、環東シナ海沿岸域の環境と水産資源問題に、本学が中心となって日中韓の関係研究機関と連携して取組み、海洋環境の保全と回復を通して健全な生態系を維持し、持続的生物生産の確保を目的としている。平成17年度より「東アジア河口域の環境と資源の保全・回復に関する研究調査（文部科学省教育研究特別経費）」を開始し、日・中・韓の海洋研究拠点大学との研究ネットワーク構築と研究交流が実現した。更に、その一つ（済州大学校 韓国）に本学の交流推進室設置が実現するなど、環東シナ海の海洋研究推進のための拠点活動を進めた。

このように、国際連携研究に関する高い実績を出した3つの研究課題をドライビングフォースとして、平成18年度には、特色ある研究10課題（重点研究課題）を選定し、平成19年度には、学長裁量経費（重点研究課題推進経費：60,000千円）による支援を実施した。更に、本学次世代の教育研究を担う若手教員育成を目指し「地方総合大学における若手人材育成戦略（平成19年度科学技術振興調整費採択課題）」を実施し、重点研究課題にテニユア・トラック制度を導入し、国際公募により、年俸制を適用する12名の助教を採用・配置した。

II . 長崎大学の特徴を活かした教育研究組織の編成と教育プログラムの提供：

「熱帯病・新興感染症研究」の成果を基盤に平成20年度から開設する「国際健康開発研究科（独立研究科）」は、保健分野での国際協力活動に必須の資格である「公衆衛生学修士（MPH）」の修得と、国際協力の現場で即戦力となるプロフェッショナルな人材の育成を目的としている。また、これに先行して平成18年度には、医歯薬学総合研究科では、講義を全て英語で行う熱帯医学専攻（修士課程）を設置するとともに、「国際的感染症研究者・専門医養成プログラム（平成17年度大学院 GP 採択）」を実施し、また「放射線医療科学」では、ベラルーシ・ゴメリ医科大学との遠隔教育を実施するなど、グローバルな教育プログラムの

展開を推進した。また、生産科学研究科では「海洋環境生物資源研究」の成果を反映した「海洋環境・資源の回復に寄与する研究者養成プログラム（平成17年度大学院 GP）」を開始した。更に、長崎とオランダとの交流の歴史と文化的な背景に基づき、平成18年度からライデン大学と長崎歴史文化博物館の協力を得て、特色ある国際的な教育プログラムである「現代『出島』発の国際人育成と長崎蘭学事始（平成18年度現代 GP 採択）」開始するなど、平成19年度までに合計13課題の特色ある教育プログラム（GP）の選定を受けた。

III . 学生が主体的に学ぶことを促す教育学習支援体制の充実と基盤環境整備：

全学生を対象とした「学生生活調査」の結果（回収率85%）や、「学長と学生の懇談会」における学生の要望に応える支援方策を実施した。例えば、「図書館開館時間の延長」並びに「附属図書館や保健学科図書室等の学習環境基盤整備」は、学長主導の下に強力に推進され、附属図書館の入館者が平成19年度54万人と法人化前より10万人の増加となるなど、学生の学習ニーズを反映した利用促進と環境整備の効果が現れ始めた。このような学習環境基盤整備等の予算は、平成19年度は343百万円であり、法人化初年度（平成16年度）比80%の増となっている。

IV . 長崎大学がもつ知的資産の積極的発信と社会への還元：

本学で生産された学術研究成果を電子媒体として登録・保存し、広く世界中の研究者に発信するためのデータベースとして「長崎大学学術研究成果リポジトリ（NAOSITE）」と「幕末・明治期日本古写真データベース」を構築した。NAOSITE には、現在、本学の学術研究成果1万件以上が登録され、2008年1月の世界の学術機関リポジトリランキングで、国内第8位、世界第170位にランクされた。一方、「幕末・明治期日本古写真データベース」は、附属図書館が整備し、インターネット上に公開したもので、これまでの累積アクセス件数は130万件を超えた。また、平成19年度に新たに入手した古写真「ボードインコレクション（Bauduin Collection）」833点のデータベースへの追加が決定している。更に、地球環境問題を考える上で有用な「ガラパゴス諸島画像」1,300枚をデータベース化して公開した。

年4回発行の広報誌「CHOHO」では、「来たれ、

未来の工学人」「ケニアの空の下で」等、本学の特色ある取組を特集として取り上げ、図や写真を交えて分かり易く解説した記事により情報発信した。また、本学ホームページでは、学内の様々な活動をタイムリーかつ視覚的に発信した。一方、平成19年度から長崎市との共催で、史跡「出島」内に「長崎出島サイエンスカフェ」を開き、本学がもつ知的資産を題材に市民との交流を深める試みも開始した。

一方、知的資産の社会への還元については、法人化と同時に発足した知的財産本部と長崎 TLO が連携して推進した。また、共同研究及び起業支援のために立ち上げた「産学官連携機構」が、平成19年度に長崎市出島地区に設置されたインキュベーション施設を拠点とする、工学部テクノエイド教育研究センターと県内企業8社による「斜面地に居住する高齢者の生活環境の改善」に向けた医工連携活動を支援した。

役員・職員数

平成19年5月1日

役員・職員数

役員			教育職員							その他の職員	合計
学長	理事	監事	教授	准教授	講師	助教	助手	教諭	計		
1	5	1	314	250	105	321	10	89	1,089	1,347	2,443

理事(1)、監事(1)は、非常勤役員で外数

学生数

平成19年5月1日

大学院（現員数）

修士・博士前期課程			博士・博士後期課程				
1年次	2年次	計	1年次	2年次	3年次	4年次	計
430	405	835	147	131	176	213	667



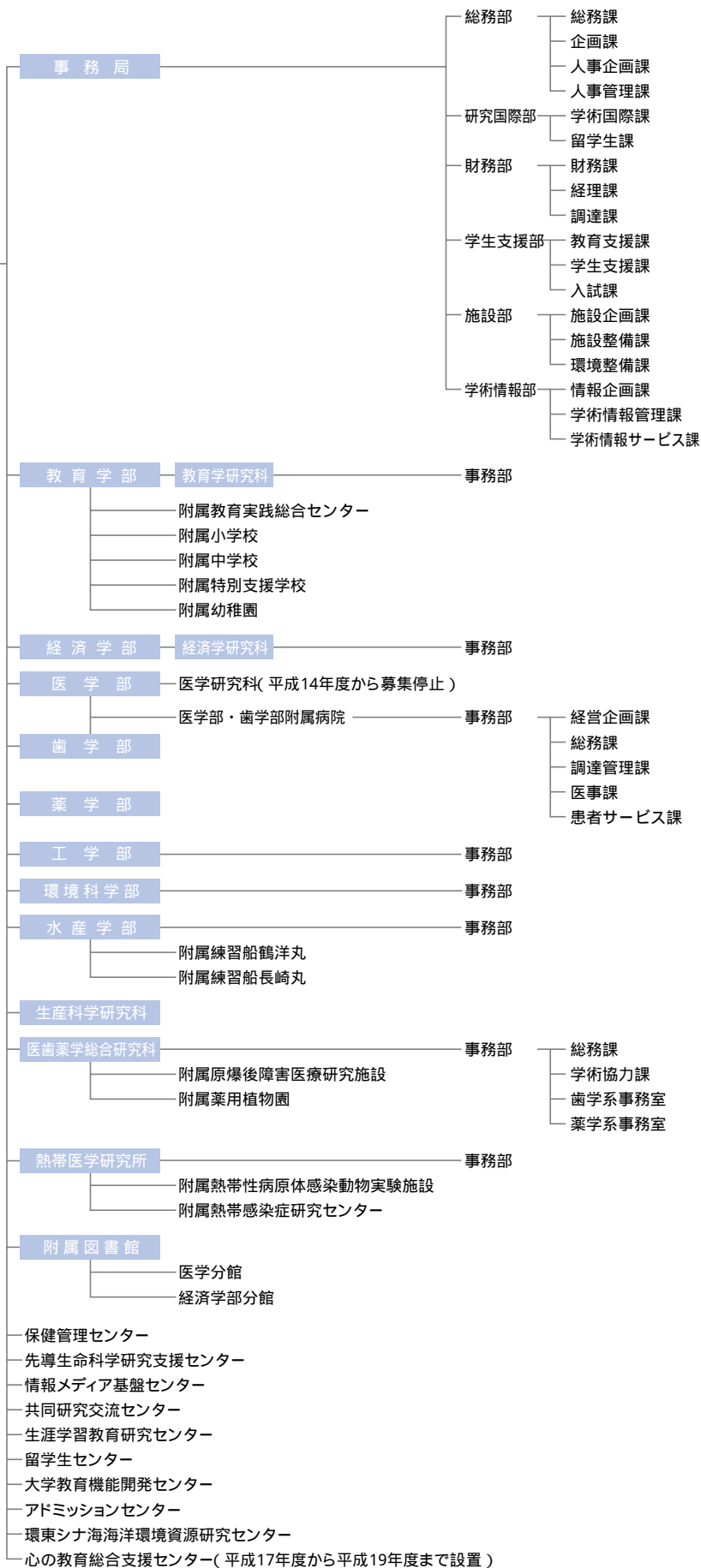
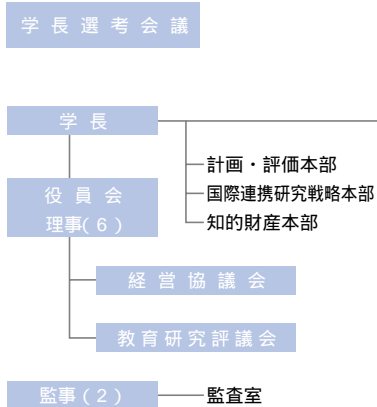
学部（現員数）

1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計
1,705	1,723	1,806	2,241	158	141	7,774



▶上記の数値の詳細は、平成19年度長崎大学概要をご覧ください。
<http://www.nagasaki-u.ac.jp/guidance/gaiyo/h19/h19gaiyo.html>

機構図
(平成19年4月1日)



長崎大学位置図 Location Map

長崎県 Nagasaki Prefecture



臨海研修所

Seaside Training Center

環東シナ海海洋環境資源研究センター

Institute for East China Sea Research

教育学部附属特別支援学校

School for Children with Special Education Needs

教育学部附属小学校、附属中学校、附属幼稚園

Elementary School · Lower Secondary School · Kindergarten

国際連携研究戦略本部、知的財産本部、

事務局、教育学部、附属教育実践総合センター、

薬学部、工学部、環境科学部、水産学部、

附属図書館（中央図書館）、生産科学研究科、

医歯薬学総合研究科（薬学系）附属薬用植物園、

保健管理センター、情報メディア基盤センター、

共同研究交流センター、生涯学習教育研究センター、

留学生センター、大学教育機能開発センター、

アドミッションセンター、心の教育総合支援センター

Center for International Collaborative Research, Intellectual Property Center, Administration Bureau, Faculty of Education, Center for Education Research and Training, School of Pharmaceutical Sciences, Faculty of Engineering, Faculty of Environmental Studies, Faculty of Fisheries, Main Library, Graduate School of Science and Technology, Graduate School of Biomedical Sciences (Pharmaceutical Sciences), Medicinal Plant Garden, Health Center, Information Media Center, Joint Research Center, Education and Research Center for Life-long Learning, International Student Center, Research and Development Center for Higher Education, Admission Center, Center for Total Human Education and Child Welfare

医学部（医学科）、熱帯医学研究所、
附属熱帯性病原体感染動物実験施設、
附属熱帯感染症研究センター、
医歯薬学総合研究科（医学系）、
附属原爆後障害医療研究施設、
先端生命科学研究支援センター、
附属図書館（医学分館）、
国際連携研究戦略本部

School of Medicine (School of Medical Sciences)
Institute of Tropical Medicine
Animal Research Center for Tropical Infections
Research Center for Tropical Infectious Diseases
Graduate School of Biomedical Sciences (Medicine)
Atomic Bomb Disease Institute
Center for Frontier Life Sciences
Medical Library

Center for International Collaborative Research
医学部・歯学部附属病院、歯学部、
医歯薬学総合研究科（歯学系・保健学）医学部（保健学学科）

University Hospital of Medicine and Dentistry, School of Dentistry
Graduate School of Biomedical Sciences (Dentistry・Health Sciences)

School of Medicine (School of Health Sciences)
経済学部、附属図書館（経済学部分館）

Faculty of Economics, Economics Branch Library
医歯薬学総合研究科附属薬用植物園
Medicinal Plant Garden, Graduate School of Biomedical Sciences
九州地区国立大学島原共同研修センター
Shimabara Training Center

長崎市 Nagasaki City



経済学部、附属図書館（経済学部分館）

Faculty of Economics, Economics Branch Library

医学部・歯学部附属病院、歯学部、

医歯薬学総合研究科(歯学系・保健学)、医学部(保健学科)

University Hospital of Medicine and Dentistry, School of Dentistry, Graduate School of Biomedical Sciences (Dentistry・Health Sciences), School of Medicine (School of Health Sciences)

医学部(医学科) 熱帯医学研究所、
附属熱帯性病原体感染動物実験施設、

附属熱帯感染症研究センター、

医歯薬学総合研究科(医学系)

附属原爆後障害医療研究施設、

先端生命科学研究支援センター、

附属図書館(医学分館)

国際連携研究戦略本部

School of Medicine (School of Medical Sciences)
Institute of Tropical Medicine
Animal Research Center for Tropical Infections
Research Center for Tropical Infectious Diseases
Graduate School of Biomedical Sciences (Medicine)
Atomic Bomb Disease Institute
Center for Frontier Life Sciences
Medical Library
Center for International Collaborative Research

国際連携研究戦略本部、知的財産本部、

事務局、教育学部、附属教育実践総合センター、
薬学部、工学部、環境科学部、水産学部、

附属図書館、生産科学研究科、

医歯薬学総合研究科(薬学系)、附属薬用植物園、

保健管理センター、情報メディア基盤センター、
共同研究交流センター、生涯学習教育研究センター、

留学生センター、大学教育機能開発センター、

アドミッションセンター、心の教育総合支援センター

Center for International Collaborative Research, Intellectual Property Center, Administration Bureau, Faculty of Education, Center for Education Research and Training, School of Pharmaceutical Sciences, Faculty of Engineering, Faculty of Environmental Studies, Faculty of Fisheries, Main Library, Graduate School of Science and Technology, Graduate School of Biomedical Sciences (Pharmaceutical Sciences), Medicinal Plant Garden, Health Center, Information Media Center, Joint Research Center, Education and Research Center for Life-long Learning, International Student Center, Research and Development Center for Higher Education, Admission Center, Center for Total Human Education and Child Welfare

附属小学校、附属中学校、附属幼稚園

Elementary School・Lower Secondary School・Kindergarten

国際交流会館

International House

附属特別支援学校

School for Children with Special Education Needs